

設計・計画部門



お すぎ と も ひ ろ
尾 杉 友 浩

生年月日 1982年2月徳島県生まれ
最終学歴 2006年大阪大学大学院工学研究科建築工学専攻前期博士課程修了
業務経歴 2006年㈱安井建築設計事務所入社
現在、東京事務所設計部主任

●担当した主なプロジェクト

2009年 国際医療福祉大学三田病院
2010年 庄原赤十字病院
2011年 加賀電子本社ビル
2012年 北本市新庁舎および児童館
2013年 いわくに消防防災センター
●受賞
JIA優秀建築選2014 入選

■青年技術者のことば

—思いを重ねる—

「地域に根付き、永く愛される建築をつくりたい」。学生の頃から大切におもってきたことには変わらない。敷地を何度も訪れ、ヒトや周辺環境から受けるインスピレーションと、歴史・文化を丁寧に読み解くことでのイメージーションが少しずつ建築・空間づくりへとつながっていく。ただ、学生の頃と大きく変わった思いがある。多様な建築主と多くの対話を重ねるうちに、その夢や思いに触れ、設計者の強い意志を丁寧に重ね合わせることで新しい価値を生むきっかけとなることを知った。またそれらを幾重にも積み重ねるプロセスは、設計者だけではなく建築主や利用者などプロジェクト関係者全員のなかで建築を大切に作る気持ちを醸成し、完成後もその建築が永く愛されることにつながっていくだろう。これからも様々な「夢」や「思い」との出会いを大切にしながら、とことん夢を叶えていきたい。そしてそれが新たな価値となり、街にひろがっていく風景を見届けていきたい。それが設計者の醍醐味であると考えている。

■すいせん者

上枝真二

(株)安井建築設計事務所 執行役員
東京事務所 副所長 設計部長



北本市新庁舎および児童館

周辺の良い住環境と調和する3階建ての低層庁舎。緑の広場を中心として一体的に整備された児童館や隣接する既存文化センターと機能的な連携・空間的な連続性を図ることで、市民の暮らしを豊かにし、様々な世代の交流拠点となるコミュニティ庁舎を目指した。



加賀電子本社ビル

プロジェクトテーマは『シンプル・フレキシブル・コミュニケーション』。モノトーン・フラット・シンプルなダブルスシンファサードデザインによる落ち着きと先進性の表現に対し、木による温かみの感じられる内装デザインは活力溢れる企業文化を映している。開放的な屋上庭園は、新たなコミュニケーションと創造力を生み出す多様なワークプレイスとして積極的に活用されている。